

第 2 回 NICT/EMC-net シンポジウム

主催：独立行政法人情報通信研究機構 (NICT)

開催日：平成 20 年 3 月 7 日 (金)

場所：霞が関ビル 1F プラザホール

電気・電子機器の大半が通信機能を持つようになるであろう未来のユビキタスネットワーク社会において「安全・安心な通信」の確保が最も重要な課題となるため、EMC 対策が今後ますます重要になってくると考えられます。EMC 関連技術に関する理解を深め、併せて我が国の EMC 関連技術の向上に役立てること、また、産学との連携強化のために、NICT は 2006 年 10 月に「NICT/EMC-net」を設立しました。

昨年に続いて第 2 回目の開催となる本シンポジウムでは、以下のように、EMC の諸問題とその対策についての講演のほか、NICT/EMC-net のこの 1 年間の活動紹介が行われました。

シンポジウム冒頭に松島裕一 NICT 理事の開会挨拶があり、その後、村瀬淳・NTT ドコモ総合研究所所長に「携帯電話の現状と将来 (3G から 4G へ)」と題した基調講演を行っていただきました。引き続き多氣昌生・首都大学東京教授より「生体電磁環境の最新動向」、渡辺聡一 NICT/EMC グループ研究マネージャーより「電波防護指針の適合性評価技術-携帯電話端末の評価方法を中心に-」の 2 件の講演が行われました。

休憩後の第二部では、NICT/EMC-net の EMC アンテナ校正研究会、妨害波測定法研究会、APD 応用研究会、先端電磁波計測研究会の活動について報告が行われ、NICT/EMC-net と NICT の EMC 研究が紹介されました。その後、佐藤利三郎東北大名誉教授 (NICT/EMC-net 名誉顧問) よりご講評をいただき、熊谷博 NICT 電磁波計測研究センター長の閉会挨拶でシンポジウムを終えました。

当日は約 120 名の多くの方々に来場していただき、数多くの質問と熱心な意見交換が行われて、シンポジウムは成功裏に終了致しました。

【シンポジウム当日の様子】



松島 NICT 理事 開会挨拶



村瀬様 御講演



多氣教授ご講演



渡辺 NICT 研究マネージャー講演



会場風景





妨害波測定法研究会報告



EMI アンテナ校正研究会報告



APD 応用研究会報告



先端電磁波計測研究会報告



佐藤利三郎東北大名誉教授
(NICT/EMC-net 名誉顧問)
ご講評



熊谷 NICT 電磁波計測研究センター長
閉会挨拶

第 2 回 NICT/EMC-net シンポジウム プログラム

開会挨拶

13:00-13:10 松島 裕一(情報通信研究機構(NICT)理事)

I 部

基調講演

13:10-13:50 携帯電話の現状と将来(3Gから 4Gへ)
村瀬 淳(株式会社NTTドコモ総合研究所 所長)

講演

13:50-14:30 (1)生体電磁環境の最新動向
多氣 昌生(首都大学東京 教授)

14:30-15:00 (2)電波防護指針の適合性評価技術-携帯電話端末の評価方法を中心に-
渡辺 聡-(NICT EMC グループ 研究マネージャー)

II 部

NICT/EMC-net の活動について

15:20-15:50 (1)妨害波測定法研究会
山中 幸雄 (NICT EMC グループ グループリーダー)

15:50-16:20 (2)EMI アンテナ校正研究会
杉浦 行 (東北大学 名誉教授、NICT EMC プログラム ディレクター)

16:20-16:40 (3)APD 応用研究会
松本 泰 (NICT EMC グループ 研究マネージャー)

16:40-17:50 (4)先端電磁波計測研究会
荒井 賢一
(東北大学 名誉教授、NICT 仙台リサーチセンター プロジェクトリーダー)

閉会挨拶

17:00-17:10 熊谷 博(情報通信研究機構(NICT)電磁波計測研究センター長)